

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 117

事務事業名	廃棄物処理施設維持管理事業
-------	---------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	市民環境部		
課名	環境センター		
課長名	濱崎 賢二	内線	54-3100
担当者名	金子 忠敏	内線	54-3100

基本目標		機能的で環境と調和したまち
政策	050403	環境にやさしいまちづくり
施策		ごみの減量化と適正処理の推進
関連施策		

会計	一般会計		
款	4	衛生費	
項	2	清掃費	
目	2	塵芥処理費	
事業コード	040000	廃棄物処理施設維持管理事業	

事業類型	3	施設維持管理(補修)事業(義務)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	ごみ処理施設		
意図 対象をどのような状態にしたいか	ごみ処理施設の正常な運転機能を維持する。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	ごみ処理施設の安定的な運営を行うため、計画的な補修工事及び定期的な点検・整備・測定分析等を実施する。		
事業期間	平成 9 年度 ~ 平成 年度	実施方法	直営、委託
根拠法令、要綱等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、大村市廃棄物の処理及び清掃に関する条例、大村市一般廃棄物処理基本計画		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 稼働日数(焼却設備)	計画値	309	307	305	306	平成28年度稼働見込日数
		実績値	300	305	313		
	ごみ焼却設備が稼働した日数	達成度	97.1%	99.3%	102.6%		
		計画値					
成果指標	① 1日当りの焼却量	計画値	88.3	90.6	93.5	92.8	平成28年度焼却見込量/平成28年度稼働見込日数
		実績値	89.7	94.1	90.7		
	ごみ焼却量/稼働日数	達成度	101.6%	103.9%	97.0%		
		計画値					
	②	実績値					
		達成度	%				

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	465,360	426,687	244,029	277,320	301,277	301,277	301,277	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債	221,100	130,200						
その他	47,095	41,291	44,490	34,215	39,827	39,827	39,827	
一般財源	197,165	255,196	199,539	243,105	261,450	261,450	261,450	
② 人件費(千円)	61,296	60,827	56,452	57,705	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	6.90	6.90	6.90	6.90	補修工事(通年)	補修工事(通年)	補修工事(通年)	
時間外勤務(時間)	2306	2492	2968	2839				
嘱託等人数(人)	1.00	2.00	1.00	1.00				
フルコスト(①+②千円)	526,656	487,514	300,481	335,025				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	プラント機器の維持管理業務を恒常的に実施しており、老朽化に伴う機械・部品等の補修対象箇所を随時精査し、効率的な年次処理を行うよう経費の節減に努めている。
事業が抱える問題・課題等	費用対効果を考慮した施設の延命化を図らなければならないが、施設の老朽化に伴い、補修工事費や修繕費が年々多くなってきている。人口の増加や、事業系一般廃棄物の可燃物搬入量の増加に伴い、ごみ焼却量が増加してきており、現在の運転時間(16時間/日)では、搬入された可燃物を焼却できていない。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

計画的な補修工事及び定期的な点検・整備・測定分析等を行い、施設の安定的な維持管理のために必要な費用である。

※事業類型が1~3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	拡充
--------	----

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	現在実施している機器の定期点検(始業前点検、日常点検、終業点検、週例点検、月例点検、年次点検)等を継続的に実施し、補修工事及び修繕を適宜行う。 平成29年度からは焼却炉の稼働時間を常時24時間運転に切り替える。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	適切な点検や補修工事を実施していくことで、廃棄物処理施設の延命化が図られる。焼却炉の稼働時間を延長することにより、安定したごみの焼却を行うことができる。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等	焼却炉の安定的かつ適正な運営を行うためには、24時間運転に切り替えるとともに、適切な補修工事及び修繕を実施することが必要である。			内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。